

「ほっとルーム」だより



第85号 平成27年9月2日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)

9月は市来小、10月は旭小で
出前サロン「おあしす」を開設します。



市来小学校は9月11日の学級PTAの時に、旭小は10月2日に、「おあしす」を開設します。全ての保護者が対象となりますので、お気軽にお立ち寄りください。

市来小
○ 開設日 9月11日(金)
○ 時間 13時30分～16時
○ 場所 3階相談室

旭小
○ 開設日 10月2日(金)
○ 時間 14時～14時45分
○ 場所 図書室

「手作りパン」に挑戦しました。 ～本浦地区母親学級～

本浦地区母親学級は、本浦交流センターで、第2月曜日を中心に、右のような計画で活動しています。

8月10日(月)は、「小麦粉パン屋さん」を講師にお招きし「パン・パイ作り」に挑戦し、手作り料理の大切さなどを学びました。婦人会の方々小さい子どものお世話をしてくださるので安心して学べます。



－ 参加した母親の声 －

毎回、いろいろな体験ができて楽しいです。また、同じ年頃の子どもたちがいるので、情報交換の場にもなります。

年間計画		
月	日	活動内容
5	11	開講式
6	8	子育て講座
7	13	消防署見学
8	10	パン・パイ作り
9	14	カラーセラピー
10	12	遠足
11	9	親子リズム体操
12	4	クリスマス会
1	11	絵本読み
2	8	お話し会
3	14	閉講式

(連絡先：本浦地区婦人会長)

「体力・運動」について学びました！ ～串木野小学校家庭教育学級～

串木野小学校「おひさま学級」は、午前や午後や夜の開設、小・中合同の開設、茶話会等の工夫をしています。

8月21日(金)は、夜7時から、エアロビック指導員の小島美幸さんから「足を整える運動」を学んだり、児童の体力の実態を知り、親子で体力測定を行ったりして、体力・健康について考える良い機会になりました。

－ 参加した学級生の声 －

・夜の開催や親子参加等、広く計画されていて参加しやすい。茶話会等は、子育てについて話し合う場になっていいです。



家庭教育学級年間計画			
月	日	曜	学習内容
5	29	金	開講式・人権講話
7	2	木	小学校の現状と課題
8	3	月	読み聞かせの実際と効果
8	21	金	児童の体力と運動習慣
9	9	水	食育「郷土の味を作る」
10	23	金	市家庭教育学級全体研修
11	6	金	児童生徒の現状
12	8	火	郷土の歴史を知る
1	21	木	小遣いの与え方・使い方
2	未定		カウンセリングマインド
3	9	水	閉講式

(連絡先：串小教頭先生)

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム： 教育委員会 社会教育課内
TEL：21-5130 FAX：36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。

市内の学校には、保護者を中心に構成された、読み聞かせグループがあります。メンバーが集まると読み聞かせの話題だけでなく、子育て等の情報交換の場になります。保護者の皆様、読み聞かせグループに参加してみませんか。



「まつぼっくり」によるお話会 ～市来小学校～

市来小学校の読み聞かせグループ「まつぼっくり」は、毎月1回の朝の読み聞かせや2ヶ月に1回の昼休みのお話し会、夏休みの緑陰読書会等の活動をしています。

8月3日(月)の緑陰読書会では、指遊びに始まり、紙芝居「なぞなぞたんていニャンタロー」、ペープサート等があり、パネルシアター「おおきくなったらね」では、校長先生や教頭先生の声の出演もありました。子どもたちは、お話の世界に浸りました。



会員さんの声 → 何でも言える雰囲気の中で、みんなでお話会の準備をしたり、子育ての話をしたりして、楽しいです。

2回目の1年生長子家庭訪問を始めます。

(返信用封筒でのご協力をお願いいたします。)

9月から、2回目の1年生長子家庭訪問を始めます。1回目の家庭訪問では、1年生に入学したお子さんの様子や、保護者の皆様の子育ての様子、思いなどを、伺うことができました。ご協力ありがとうございました。

ところで、長子家庭訪問では、それぞれの用事もおありで、お会いできないご家庭もあります。そこで、前回と今回、お会いできなかったご家庭へは、簡単な内容のアンケートをポストに入れておきます。

お手数ですが、訪問希望の日時(希望がある場合)や、アンケートをご記入いただき、返信用の封筒で、「ほっとルーム」へ返送していただきたいと思ひます。

お会いできなかった保護者の声を、少しでもお聞きできたらと思ひますので、ご協力をお願いいたします。



子どもが、言われないとやらない!

(振り返ってみませんか?)

子どもが挑戦しようとしているのに、先回りして、手や口を出しすぎていないかな?

⇒「それは失敗するよ。お母さんがしてあげるから」



子どもがする事に、あれこれ指示しすぎていないかな?

⇒「宿題した?」「明日の準備は?」

子どもが自分で考え、勇気をもって行動し、達成感を味わったり、失敗から学び、強くなるチャンスを奪っていないかなあ?

親は、自分の考えを押しつけるのではなく、「あなたは思う?」と子どもの言い分をじっくり聞き、子どもの気持ちを受け止め、一緒に考え、一緒に学ぶ姿勢を!